

月 日 ( )

☆教科書P.16~21

2-1. 国土の地形の特色

組 名前

めあて

①日本の地形の特色を調べ、さまざまな地形を知ろう。

- 1. 教科書P.16~17読みましょう。
- 2. さまざまな地形 (◎P.18を見て、持ちようを整理しましょう)

**山地** : 山が集まっている地形

- ( **山脈** ) : 連続して細長くなっている山地
- ( **高地** ) : 山がはば広く連なる山地
- ( **高原** ) : 標高は高いが、平らに広がる土地
- ( **丘陵** ) : あまり高くなく、小さな山が続いている地形

**平地** : 平らな土地

- ( **平野** ) : 海に面している平地
- ( **盆地** ) : 山に囲まれていた平地
- ( **台地** ) : 平地の中でまわりより高くして平らになっている地形



3. 日本の国土の地形の特色 ※ ( ) の中の正しい言葉に○を書きましょう。

日本の国土は、4分の3が ( **山地** 平地 ) で、( **山地** 平地 ) は少ない。

世界の川とくらべて、日本の川にはどんな特色があるか考えよう。



- 日本の川
  - ・本曾川
  - ・信濃川
  - ・利根川
- 世界の川
  - ・ロワール川
  - ・アマゾン川
  - ・ミシシッピ川

4. ( ) の中の正しくあてはまる言葉に、○をしましょう。  
 長さ: 日本の川の方が ( **短く** 長く )、世界の川の方が ( **短い** 長い )。  
 かたむき: 日本の川と世界の川をくらべると、かたむきが急なのは、  
 ( **日本** 世界 ) の川である。

5. 琵琶湖、霞ヶ浦、サロマ湖の場所を地図帳で確認し、下の地図に、それぞれの場所を○で囲みましょう。



(例)と同じように、○、湖の名前、都道府県名を書こう。

月 日 ( )

☆教科書P.22~27

3-1. 低い土地の暮らし

組 名前

めあて

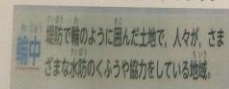
①海津市の土地の様子や人々の生活について考え、輪中に住む人々は、水害から生活をどのように守ってきたか調べよう。



- 1. 教P.22~23を読みましょう。
- 2. 地図帳で、岐阜県海津市の位置を調べ、○で囲みましょう。

3. 輪中に住む人々の生活を考えよう。

①◎P.26~27を読みましょう。



教科書や資料集の写真で、確認しよう。

②. 輪中地帯に住む人々の暮らしを守る取組について、当てはまる言葉を書きましょう。

輪中地帯は、明治時代の終わりごろまで、( **木曾** )川、( **長良** )川、( **いび** )川がまざり合い、( **こう水** )が起きやすい地形でした。  
 人々は、少しでも高い土地に家を立てたり、( **水櫃** )を建てたりして、水害から暮らしを守りました。

昔は、台風や大雨が来ると、輪中の内側に大量の水がたまり、農作物が受け取ることがありました。

そこで、人々は大型の ( **排水機場** ) をつくり、水がたまる前に外に流すようにするなど、水害から暮らしを守る取組を進めてきました。

海津市では、市と市民が協力して、( **水防** ) 演習を行ったり、水防倉庫を備えたりするなど、今でも ( **水害防止** ) に努めています。



③ 「治水」について ( ) にあてはまる言葉を書きましょう。

治水とは、川の流れや水路などを改良し ( **水害** ) を防ぎ、水を ( **くらし** ) や産業に利用することをいいます。( **住みよい** ) 社会づくりに欠かせない大切な働きです。